

合成され、その中から最適化合物として、水稻に高い安全性を有するピラゾレートを選抜した。ピラゾレートは水田の土壌表層で活性成分 DTP（デストシルピラゾレート）をゆっくりと放出して除草作用を発揮する特性をもつ。そのため、安定した除草効果が長く持続し、安心して使用できる除草剤として愛用されている。現在も、多くの農家でピラゾレート配合剤「クサカリン」や「クサホープD」を使用しているが、ピラゾレートは水稻にはもちろん、動物にも、環境化学的にも安全性の高い薬剤であると高く評価されている。

殺菌剤「タチガレン」の適用性を工夫した製品として最近、「タチガレエース」を上市した。これらの2つの製品はともに、水稻の育苗に不

可欠な薬剤として使用され根強いファンが多い。農業研究所で、古いことわざ“良苗半作”を肝に命じて、イネ苗の病気を徹底的に研究してきた成果である。最近では、切れ味鋭いイネの紋枯病防除剤「モンガード」、白葉枯病防除剤「シラハゲンS」などを発売している。このような農業をお使いいただいている方には、「社会に奉仕できるユニークな農業の開発」という当社の研究姿勢をご理解いただければよい。

現在、農業研究所を中心として、大型殺虫剤・殺ダニ剤など新規でユニークな薬剤が開発研究の段階にある。基礎研究から応用研究まで、当社の総合力を生かし、高度な先端技術を先取りして、新薬剤の開発、新分野の開拓を行い、農家の期待に応えたいと考えている。

植 調 協 会 だ よ り

◎ 人 事 異 動

- 昭和63年8月1日付
命 研究所化学研究室長 山崎和己
- 研究所化学研究室長代理塚本伸也は、昭和63年6月25日急性心不全のため死亡した。

◎ 会議開催日程のお知らせ

- 昭和62年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験成績中央検討会

日時：昭和63年9月2日 9時15分～17時

場所：家の光会館7階会議室（新宿区市ケ谷船河原11 電話03-266-9054）

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京（03）832-4188（代）

昭和63年8月発行

植調第22巻第5号

定価400円（送料170円）

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京（03）833-1821番（代）